

☆星を見る会→11月25日(土)午後6時(雨天中止)
芥見東小学校グラウンド

配布
大洞 3-50
東山 3-39
北山 36-319
モ北 6-79
桜台 23-277
桜市 1棟16-15
2棟15-19
4棟19-14
5棟14-20
6棟20-15
8棟15-13
11棟13-33
33-118
柏台 30-258
14棟 4-21
15棟 4-15
桐丘 16-146
桐市 19&20棟 6-21
紅葉 19-202
紅市 12-30
合計 195-1575

支部だより 長生きできる地域は みんなの安心と希望

ー柏台支部長・堀田 信夫さん

9月17日(日)の早朝、例年どおり町内の法面の草刈りを行いました。「くさかりclub」の方が数日前に手をかけてくださったことで、どれほど助かったことか言葉に尽くせません。



私どもの町内だけでなく「くさかりclub」のみなさんには、団地内各地の法面の整備にご尽力いただいています。あらためて感謝申し上げます。

団地は高齢化が進んでいますが、高齢者のみなさんのご活躍には目を見張るものがあります。児童生徒の登下校の見守り、里山の整備、グラウンドゴルフやカラオケなどのクラブ活動に至るまで、長く人生を重ねてこられた方々が個性と持ち味を生かし、日々の暮らしを送っておられる姿は、次の世代を間違



いなく励ましています。高齢者の人権と尊厳が保障され、長生きできる地域社会は、すべての年齢の人たちの安心と希望にも通じます。

自治会活動にも困難な課題が見受けられますが、みんなの知恵と力で乗り越えたいですね。 □■

中学校 職場体験について

ー藍川東中学校2年1組・三上 美希さん

私は今回、職場体験学習で三洋堂書店に行き、働くことの大変さや、やりがいについて学ぶことができました。

まず私が体験した中で、一番に学んだことは挨拶です。本屋では、お客様とすれ違うときに「いらっしゃいませ」と挨拶をします。その理由は、来店したお客様に対する礼儀と、万引きを防ぐという意味があるそうです。



私はなぜだろうと思い、お店の方に聞いてみたら、お客様に目を向けて挨拶をすることで、相手はしっかりと見られていると認識し、万引き犯が盗むのをためらうとのことでした。どちらもお客様を大切にするという意味があり、挨拶は大きな声で言わないといけないのだと教えていただきました。だから、私はお客様とすれ違ったとき、

挨拶を精一杯頑張ろうと思い、実行することができました。他にも、大変だなと感じたことは本の整理です。品出しする本を、すでに並べられている本の中に綺麗に並べることは頭を使い、センスが求められるため、とても難しいと感じました。

このように、私は職場体験学習で仕事の大変さややりがい、それ以外にもたくさんを学ぶことができました。この学んだことを普段の生活に活かしていきたいです。 □■

メディコスまつり フム・ドキ・ワイワイ

ー市民活動交流センター市民活動支援係長・ 榎形 裕志さん

10月9日(月)みんなの森 ぎふメディアコスモスにおいて「メディコスまつりフム・ドキ・ワイワイ」を開催しました。

フム・ドキ・ワイワイは知・文化・絆の拠点である、みんなの森 ぎふメディアコスモスが、広く市民や利用者に愛され活用される施設となることを目指したイベントで、今回で6回目の開催となります。



イベント当日は、40の市民活動団体によるステージ発表、ブース出展やワークショップなどがあり、参加者からは「子どもからお年寄りまで、いろいろな年代の方が楽しめるイベントで良かった。」「天候に関係なく1日中遊べた。」といったご好評の声をいただきました。

日頃お世話になっておりますNPO法人まちつくり会GIFUでは、みどりっこマーケットが開催され、趣味で手作りしているブローチや財布、帽子やかばんなど創意工夫を凝らした作品を販売していました。また、多くの家族連れで賑わっていた華やかなアクセサリー作りのワークショップでは、単に販売するだけでなく、スタッフの方が子どもたちと楽しそうに交流を図りながら接客していたことがとても印象に残りました。

まちつくり会GIFUをはじめ、フム・ドキ・ワイワイに参加された団体が、メディアコスモスのにぎわい創出の一翼を担っていただいていることに深く感謝申し上げます。今後も引き続き福祉サービス、まちづくり、環境保全、文化・芸術、子育て、スポーツの推進など幅広い分野で活動している市民活動団体を支えていきたいと思ひます。 □■

★「こうしては？」のご意見や話題、知恵、ご要望などを、芥見東公民館ポストまでお寄せください

☆クリンシテイぎふ→11月19日(日)午前8時~9時...各地区の通学路・バス通り 予備日:11月26日(日)

支部だより 義務教育学校移行を機に
地域の世代交代促進を！！

ーコモンヒルズ北山・多田 喜代則さん

地域の子どもたちが毎日通う芥見東小学校と藍川東中学校が、令和8年4月から9年制の義務教育学校に移行するという。子どもたちは学校当局や地域の支えで環境の変化に対して着実に適応・進化することと確信します。



我々地域社会も今日の社会の変動、地域の移り変わりに順応し、5年先10年先を見据えてこの地域をどうするのか、今こそ真剣に考え行動すべき肝心な時期を迎えていると思います。その要が世代交代です。私自身が芥見東の地域活動に関わって約18年、少々長すぎたきらいがあり、早々に団塊の世代から団塊ジュニア世代にバトンタッチをしたいものです。

そのためには、ますます進む少子高齢化に対して、地域活動の在り方、元気な高齢者の活躍の場づくり等々について、本音で語り合う場づくりが求められます。

義務教育学校発足を機に、住宅団地住民が多く住み同じ価値観を共有する芥見東・南地区住民が一体となって、豊かな自然と伝統文化を継承するとともに、新しい発想による改革を実現し、安全・安心で持続可能な穏やかな日々が送れる地域づくりに今こそ着手したいものです。 □■

みどり福祉会 ケアハウスささゆり

ーみどり福祉会専務理事・住田 崇さん

みどり福祉会では、地域の方と協力して、毎年映画会を開催しております。コロナ禍で数年お休みしていましたが、昨年から再開しています。高齢社会に「元気に安心して住み慣れた地域で暮らしていきましょう！」「支えあっていきましょう！」ということで映画から元気をもらう企画です。今回は、過去に上映させていただいた映画のタイトルをご紹介します。機会があったらぜひ視聴してみてくださいね。

今年は、昨年上映した映画の続編です。「ぼけますからよろしくお願いします」はドキュメンタリー映画で、表題のとおり認知症がテーマです。笑あり涙ありのとてもいい映画です。たくさんの方に見ていただきたいと思います。過去の上映作品は以下のとおりです。

2023年 ぼけますからよろしくお願いします。「おかえりお母さん」10月8日上映

2022年 ぼけますからよろしくお願いします

- 2019年 オケ老人
- 2018年 妻の病
- 2017年 徘徊
- 2016年 ひまわり



今後も毎年行っていく予定ですので、ぜひお越し下さい。 □■

支部だより 食品ロスを減らすために

ー芥見東自治会員・匿名さん

食品ロス(フードロス)という言葉を知ったことがありますか？食品ロスとは「まだ食べられるにもかかわらず廃棄されている食品」のことを言います。

【家庭から出る食品ロスが発生する理由】

1. 買いすぎ・・・調理に使いきれず捨てられたもの
2. 期限切れ・・・賞味期限や消費期限が切れて捨てられたもの
3. 過剰除去・・・調理の時に食べられる部分が捨てられたもの
4. 食べ残し・・・食べきれずに捨てられたもの

日本の食品ロス(フードロス)の現状は、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)は約523万トン。その内家庭から約244万トン、事業所から約279万トン(農林水産省:令和3年度)

食品ロスを国民一人当たりで換算すると1日113gになっており、お茶碗約1杯分(約150g)のご飯に近い量になっております。

【家庭で多い食品ロスの上位は】

1位:野菜類 2位:果実類 3位:調理加工品

【ごみを出さないための対策】

①野菜を無駄なく使用

1. 人参・大根・ジャガイモなどは、皮ごと使いましょう。
2. レタス・キャベツ・ブロッコリーなどは外側の葉や芯を活用しましょう。
3. ねぎの青い部分や玉ねぎの皮付近などは、スープなどの出汁として活用しましょう。



②野菜を上手に保存

1. 料理で使い切れなかった野菜は冷凍保存しましょう。
 2. 調味料などを付けて保存しましょう。
 3. 食事は食べきれぬ量で作る
- 食べきれなかったものは冷凍するなど、悪くなりにくいような保存方法を工夫しましょう。



一人暮らしで野菜など使いきれない場合は、冷凍食品コーナーにある冷凍野菜がおすすめです。

上手に工夫して食品ロスを減らしましょう。 □■